

# 学校関係者評価委員会報告書

令和5年1月12日

旭川歯科学院専門学校

<ご報告>

本校が行った令和4年度学校自己評価に基づき、学校関係者評価委員会書面会議で行っていただきました評価結果につきましてご報告いたします。

みなさまからいただきました評価につきましては、本校の教育活動および学校運営全般の改善につなげてまいります。

<学校関係者評価委員会書面会議開催>

場 所	書面会議として開催
日 時	令和4年10月17日（月） 書面による審議依頼 11月30日（水） 回答期限
委 員	安田佳正委員（旭川市議会議長） 竹川政範委員（旭川医科大学歯科口腔外科学講座教授） 池田卓平委員（旭川市立啓北中学校） 山本 浩委員（上川支庁） 近藤泰規委員（北海道歯科技工士会旭川支部会専務理事）
事務局	校長 岩田谷 隆 副校長 西嶋 潤一 事務部長 森田 慎悟 運営委員長 江端正祐

学校自己評価項目	自己評価 (昨年)	関係者評価	学校側コメント
<p>1. 建学の趣旨と教育の方針</p> <p>学校の建学の趣旨と教育の方針は定められているか。</p> <p>将来の展望を踏まえて学校の将来構想が描かれているか。</p> <p>学校の建学の趣旨、教育の方針、将来構想は学生、保護者等に周知されているか。</p>	<p>3.3 (3.4)</p> <p>3.1 (2.8)</p> <p>3.0 (2.8)</p>	<p>学校建学の趣旨および教育の方針は適切に定められており、学校の理念・目的・育成人材像は適切に実施・評価されている。将来構想に関してインタネットなどで学生・保護者に周知するなど工夫が必要と思われる。ホームページ等により教育方針等に関して学生・保護者に対し周知の努力が見られる。共有する必要があまりなく、将来の展望を明らかにし、共有する必要があまりない。歯科衛生士という職業は社会に認知されてきていると思う。</p>	<p>今年度ホームページの更新に取り組んでいますが、学生・保護者、衛生士志望者に対して、さらに見やすく、学校の内容が伝わりやすいようなホームページを目指しています。歯科衛生士不足が続く中、今後、3ポリシー等の内容も検討を加え、より魅力的な教育活動を展開していきたいと考えています。</p>
<p>2. 学校経営方針</p> <p>教育理念、目標に沿った学校経営方針が策定されているか。</p> <p>学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能しているか。</p> <p>人事、給与に関する規定等は整備されているか。</p> <p>地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。</p> <p>教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。</p>	<p>3.2 (3.1)</p> <p>3.1 (2.6)</p> <p>3.2 (2.8)</p> <p>3.2 (2.9)</p> <p>3.3 (3.5)</p>	<p>組織の有機的機能について、昨年より向上が見られる。教職員間の連携を引き続き強化されたい。情報公開に関してはホームページにより広く発信されており概ね良好である。今後さらに内容を充実されたい。昨年度より、教職員の組織体制の確立が図られ、有機的に機能したことがうかがえる。HPの有効活用、期待します。</p>	<p>年度当初、教務主幹を置き、教職員数を増やしたことで、組織に対しての自己評価は高まりましたが、年度途中の退職があり1減になりました。教職員の確保と効率的な分業につとめ、小規模であることを生かした情報共有、学校体制の整備につとめていきます。</p>
<p>3. 教育活動</p> <p>教育理念、目標に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか。</p> <p>カリキュラム(実習等を含む)は体系的に編成され学習時間の確保は明確化されているか。</p> <p>成績評価、単位認定、進級、卒業の基準は明確化されているか。</p> <p>教育の方針(人材育成)達成に向けた授業担当教員を確保しているか。</p> <p>教員の先端知識、技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われているか。</p>	<p>3.1 (2.9)</p> <p>3.2 (3.1)</p> <p>3.3 (3.0)</p> <p>2.7 (2.4)</p> <p>2.6 (2.3)</p>	<p>教育課程の編成・実施方針は良好に策定されており、カリキュラムは適正である。成績評価等について、学生が自身の達成度を振り返りができ、卒業まで一貫してポートフォリオを作成し、評価を行うシステム導入を検討されたい。教員の確保にご苦労が多いことは理解できる。さらなる工夫と努力を期待する。教員の確保及び資質向上のため体系的なフェアカルティ・ディベロップメントの導入を検討されたい。カリキュラムの編成について、軒並み評価が上昇している中で横ばいになっていることから、カリキュラムの見直し・再構築をしっかりと進めていく必要があるように思う。</p> <p>業務に追われている現状が気になりました。工夫と精進で自己啓発の余力ができることを期待します。</p> <p>授業担当教員の確保について、臨床経験豊かなDHに講師として来ていただくことは可能ですか。教員の資質向上のため取り組みについて、自己評価数値が低いのは残念です。学生のためには重要な項目ですので、コロナ後は積極的に研修会等に参加を。</p>	<p>カリキュラムについては教務主幹から改善についての提起があり、できるところから取り組みを進めています。まず、臨床実習内容の整備・改善のために学生からアンケートをとることを考えていく予定です。コロナ禍で、臨床実習等関係者全体での会議ができません、外部との意見交換がアンケート中心となり、細かな部分での聞き取りや改善を難しくしてしましますが、今後も工夫をしながら取り組んでいきます。</p> <p>授業担当教員を適正数確保することで教員の資質向上のための研修機会を確保するなど、研修を勧めたいという運営委員会の意向を踏まえながら、より強く取り組みを進めていきたいと考えています。</p>
<p>4. 学修成果</p>			

学校自己評価項目	自己評価 (昨年)	関係者評価	学校側コメント
就職率の向上が図られているか。	3.6 (3.6)	国家試験合格者および就職率は高く教員を始め関係者の努力の結果が見られる。学生の資質、適性もあるため教職員は学生指導に苦労されていると思う。卒業生のフォローアップ体制に関しては歯科医師会、同窓会などの協力の上で進められた。合格率の向上が図られたとするとするならば、次年度につなげるため、その要因を明らかにする必要がある。退学率の低減について、具体的な方策を新たに講じていく必要があるように思う。	国家試験については、3年間の教育活動が問われるものである。運営委員の先生、講師の先生を含め教職員全体で体制を組み、取り組みを進めていきます。前例踏襲のみに陥ることなく、より効果的な体制を意識し、補講も含め実施しています。入学後に意欲を失う学生への指導、卒業生指導も強化していきたいと考えています。
国家試験合格率が図られているか。	3.5 (3.0)	必要があるように思う。国家試験には十分対応していると思います。退学が有名出るのは仕方ないと思います。	
退学率の低減が図られているか。	2.8 (2.8)		
卒業後の生徒のフォローアップがなされているか。	2.7 (2.6)		
<b>5. 学生支援</b>			
進路、就職に関する支援体制は整備されているか。	3.5 (3.1)	進路、就職に対する支援体制整備に関しては、昨年と比較して自己評価が大幅に向上しており努力の成果が見られている。歯科医師会などによる奨学金制度を提案されているが、実現に向けて検討された。保護者との連携について、医療および介護では口腔ケアを担当する歯科衛生士のニーズが高いことを、保護者や学校関係者にさらに情報提供すること。卒業生に対する支援体制に関しては卒業勉強会などの企画を充実させていくことも一案である。	家庭の経済状況は年々悪化しており、特待生制度や特別指定校推薦制度による入学金・授業料等の減免、高等教育における負担軽減制度の周知をさらに強化していきま。専門実践教育訓練給付制度の活用か、毎年、社会人の入学者もいて、今後も社会人の入学を増やしていきたいと考えています。
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.2 (3.1)	保護者に対する経済的な支援体制は整備されているか。	保護者については、必要な都度、説明会を開催するなど連携を強めています。
学生の健康管理を担う体制はあるか。	3.2 (3.0)	学生の健康管理を担う体制はあるか。	就職については、求人が大変多い状況が続いており、就職担当の職員を置き取り組んでいり組みもさらに強化していきま
学生の生活環境への支援は行われているか。	2.9 (2.8)	学生の生活環境への支援は行われているか。	就職については、求人が大変多い状況が続いており、就職担当の職員を置き取り組んでいり組みもさらに強化していきま
保護者と適切に連携しているか。	3.2 (2.9)	保護者と適切に連携しているか。	就職については、求人が大変多い状況が続いており、就職担当の職員を置き取り組んでいり組みもさらに強化していきま
卒業生への支援体制はあるか。	2.6 (2.5)	卒業生への支援体制はあるか。	就職については、求人が大変多い状況が続いており、就職担当の職員を置き取り組んでいり組みもさらに強化していきま
<b>6. 教育環境</b>			
施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できているか。	3.2 (3.2)	社会状況の変化に対応するべく、IT環境を整備してWEB等を利用した学習方法、自己学習の推進に期待する。防災体制についてはBCPの作成を検討したい。	コロナ禍でオンラインの授業を行わざるを得ない状況があり、授業内容等も確実にも向上していきま。対面授業とは違い限界もありま。今年度、運営委員会からも施設・設備の充実も含め、ICT化の提案があり、学生の必要度を考えながら取り組みを進めていきま。考えています。
学内外の実施設等について、十分な教育体制を整備しているか。	3.0 (3.1)	引き続き、教育環境整備に尽力して下さい。施設・設備について、お金のかかることですが、機材を充実させることは教育効果を上げることもなるので対応してほしいです。	
防災に対する体制は整備されているか。	3.4 3.1)		

学校自己評価項目	自己評価 (昨年)	関係者評価	学校側コメント
7. 学生の受け入れ募集			
学生募集活動は適正に行われているか。	3.2 (2.9)	ホームページによる広報活動を行っており、積極的な試みを行っている事が評価される。さらに内容の充実をされたい。職業体験、高校訪問、進学相談会への参加も積極的に行う。学生募集の際の教育成果伝達については、努力の成果が見られる。学費等納入金に関しては、学生奨学金基金などの制度を検討してはどうか。	学生募集について、担当の歯科衛生士を配置し、高校訪問や説明会等に積極的に参加しています。中学生の職業体験にも積極的に協力し100人を超える中学生が来校しています。インターンシップへの協力も含め歯科衛生士の業務内容を正しく伝えることで、長期的視野で歯科衛生士希望者を確保していきたいと考えています。
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.2 (2.8)	学生募集活動は適切に進められているように思う。さらなる成果を期待するのであれば、中学生の職場体験の受け入れなど、新たな方策に取り組む必要がある。インターネット等で情報発信されています。今後も充実して下さい。	ホームページを更新しての活用、SNS利用も積極的に進めるよう準備を進めています。また、入学した学生を後悔させないよう、就職後の待遇改善についての発信も強めています。
学費等納入金は妥当なものとなっているか。	3.4 (3.2)	DHの認知度が上がってきていると思う。仕事の内容のPRが重要かと思う。	
8. 財務			
中期的に学校の財政基盤は安定しているか。	3.2 (2.8)	適切に行われている。問題ないものと捉えます。長期展望をもって運営して下さい。	学校の定員充足率を上げること、財政基盤を確立できればと考えていますが、長期的には学費の値上げも含め検討している現状です。
予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.3 (3.1)	入学生を増やすことに尽きるので、旭川歯科学院の魅力アップに努めてください。	現在、1年生41人、2年生27人、3年生37人が在籍しており、来年度40人程度の入学生が見込んでいますので、再来年度以降の状況を見極める必要があります。
財務情報公開の体制整備はできているか。	3.5 (3.5)		
3.2 (3.1)			
9. 地域社会貢献			
臨地実習等を通して生徒、教員による地域社会貢献を行っているか。	3.1 (2.9)	教育機関に求められる大きな役割の一つに、社会貢献がある。十分な役割を果たすよう期待したい。コロナ禍で制限が多かったと思います。活動の発信を期待します。	コロナ禍でも一定程度の活動はできていますが、ある程度、対応方法も確立されつつありますので、今後も地域社会貢献活動を進めたいと考えています。
10. 法令等の遵守			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか。	3.5 (3.5)	法令等の遵守に関しては、教員を始め関係者の努力の結果が見られる。学校自己評価結果の公開に関しては、適切である。	学校自己評価、学校関係者評価をホームページで公開し、コンプライアンスを意識することで、全職員で対応していきます。
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	3.1 (2.9)	PDCAの確立を図り、学校自己評価を意味あるものにしていくことを期待したい。	個人情報保護についても、ICT環境の整備の中心に情報管理の徹底が求められると考えています。職員間で情報の共通とともに学びを進めていきます。
学校自己評価の改善を図っているか。	2.9 (2.9)		
学校自己評価結果を公開している。	3.3 (3.3)		
11. その他の意見			
評価項目の数値が全体的に昨年より上昇していることから、学校内の様々な状況が好転していることがうかがえる。しかしながら客観的に状況を把握するには、数値目標を設定しその達成状況を把握する必要があるように思う。例として、今年度の結果報告書の「本年度の重点課題」に合格率100%、就職率100%を掲げているが、その達成状況でもって評価してはどう			合格率、就職率の100%は毎年の目標にも検討していきます。

学校自己評価項目	自己評価 (昨年)	関係者評価	学校側コメント
か。 教員以外にどのような職員がいるのか、人員構成が知りたいです。			職員構成は、2022.12現在、歯科医師の校長 1、常勤の歯科衛生士教員5、事務長1、非常勤 で学生及び募集担当の副校長1、募集・就職担 当の歯科衛生士2、事務2の12人体制となっ ています。非常勤は基本、半日の勤務です。

※自己評価・・・4「適切」、3「ほぼ適切」、2「やや適切」、1「不適切」とし、平均点で算出。